

米国核セキュリティ・サミット
大量破壊兵器・物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップ（GP）
を支援するための行動計画概要

これまでの核セキュリティ・サミットのコミュニケは、核セキュリティの強化、テロリスト等による核物質の取得防止への GP の貢献を評価。我々は、核セキュリティに関する GP の任務の実施を支援するため、この行動計画を、国内の法律、政策、手続き、能力、利用可能な資源に一致する範囲で実行する。

A 核・放射線のセキュリティに係る調整及び資金提供の優先分野

（注：2～3年毎に再検討）

● **各国の核セキュリティのための制度の強化**

- 核セキュリティ文化と個人の信頼性向上に関する計画等を支援・調整。
- 内部脅威の削減に向けた計画等を支援・調整。
- 輸送セキュリティの強化に関する計画等を支援・調整。
- 放射性物質の核セキュリティ強化に関する計画等を支援・調整。
- コンピューター・セキュリティの強化に関する計画等を支援・調整。
- 核セキュリティ強化のための拠点（COE）に関する計画等を支援・調整。
- COE 等に関するギフト・バスケットの活動を実施する計画等を支援・調整。

● **核鑑識**

- 核鑑識の能力強化に関する計画等を支援・調整。

● **核物質の処分及び転換**

- 核物質の統合管理・撤去・希釈、プルトニウムの MOX 燃料への転換・在庫削減、高濃縮ウランの最小化に関する計画等を支援・調整。

B 優先地域

- 核物質等が犯罪者に渡るリスク、又は機微な施設・輸送が攻撃される場所を考慮。

C GP の強化

● **GP のマッチ・メイキング機能の強化**

- 支援のマッチ・メイキングのための年に1回以上の会合の開催を支持。
- GPが国連安保理決議第1540号の専門家グループと協働し、マッチ・メイキングの手続を整備することを支持。
- GPがドナーと支援要請国とのマッチングに関しIAEAと協働することを支持。
- **他の国際的なフォーラムとの協力の強化**
 - IAEAが主催する定期的な情報共有会合への積極的な参加を含む、国連、国際原子力機関（IAEA）、国際刑事警察機構（ICPO）、核テロリズムに対抗するためのグローバル・イニシアティブ（GICNT）等との協力を支持。
 - GPがその他の国際機関・枠組み等との結びつきを強化することを支持。
- **参加国の拡大**
 - GPが参加国を拡大することを引き続き支持。
- **G7首脳を含むGP首脳の認識の向上**
 - 核セキュリティへのG7首脳を含むGP首脳の関与を継続させるべく機会を模索。
- **核セキュリティにおけるGPの取組の宣伝**
 - GP議長が年次報告書をGP非参加国・関連国際組織にも広く配布することを支持。
 - 全てのGP参加国のウェブサイト等にGPの成果に係る報告等を含めることを支持。
- **迅速な資金提供能力の強化**
 - GP参加国が核・放射線セキュリティに係る予期せぬ状況に迅速に対応することを支持。
- **核セキュリティのための支援資金に係る会計機能の強化**
 - GPが資金面に関する年次附属書の作成のために、より標準化された手順を整備することを支持。